

都市再生整備計画 事後評価シート

じえーあーるつだぬまえきしゅうへんちく
JR津田沼駅周辺地区

平成29年3月

ちばけん ならしのし
千葉県 習志野市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	習志野市	地区名	JR津田沼駅周辺地区	面積	110.8ha							
交付期間	平成24年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	979百万円	国費率	0.4							
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(都市計画道路3・4・19号津田沼谷津線、都市計画道路3・4・5号線津田沼駅北口新京成線)、高質空間形成施設(歩行支援施設等(特定経路(都3・4・5号線、北口駅前広場)、JR津田沼駅北口エレベーター設置事業)、緑化施設等(JR津田沼駅南北通路))、土地区画整理事業(JR津田沼駅南口特定土地区画整理事業)											
		提案事業	地域創造支援事業(谷津小学校グラウンド拡張整備事業)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設(JR津田沼駅北口エレベーター設置事業)		事業内容の精査により当初計画から削除		事業の削除により目標達成に影響を与えるが、目標及び指標は据え置く							
		基幹事業	道路(都市計画道路3・4・5号線津田沼駅北口新京成線)		事業内容の精査により当初計画から削除		事業の削除により目標達成に影響を与えるが、目標及び指標は据え置く							
		提案事業												
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(地域防災施設(耐水性貯水槽))		地域の防災性・安全性を向上するため追加		事業の追加により目標達成にプラスの影響が見込まれるが、目標及び指標は据え置く							
		基幹事業	地域生活基盤施設(人工地盤等(人工地盤・昇降施設))		JR津田沼駅の良好な機能と環境を備えるため追加		事業の追加により目標達成にプラスの影響が見込まれるが、目標及び指標は据え置く							
	提案事業													
	交付期間の変更	当初												
変更		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	指標1	狭隘道路率	%	19.1	H23	3.5	H27	—	3.5	○	あり なし	土地区画整理事業により区画整理事業市内の狭隘道路は皆無となり、以て健全な市街地の形成に至った。		
	指標2	居住者数	人	8,056	H21	10,320	H27	11,335	14,722	○	あり なし	土地区画整理事業や歩行面の改修等による生活基盤整備が進んだことで、区画整理事業市内の定住を促進し、地区全体の居住人口は増加した。		
	指標3										あり なし			
	指標4										あり なし			
	指標5										あり なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	その他の数値指標1	谷津・奏の杜・津田沼における住みよ理由「生活基盤整備が進んでいる」選択率	%	53	H24			—	64		あり なし	土地区画整理事業などにより生活基盤整備が進んだことで、住みよいと感じる人の割合が上昇しており、本事業による定住促進効果が伺える。		
	その他の数値指標2	認可保育所の定員数	人	0	H24			—	320		あり なし	認可保育所の新設は、土地区画整理事業による定住促進効果を示すものと考えられる。		
	その他の数値指標3										あり なし			
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業により道路や公園等の都市基盤施設の整備が着実な進行するとともに、防犯灯や防犯カメラの設置、無電柱化、災害用マンホールトイレ、耐震性飲料用貯水槽など、住民の安全に安心して暮らせる環境が整ってきている。 歩道の整備等により障がい者誘導ブロックや手すりの設置がなされ、バリアフリー化が推進している。 													
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 地区全体の人口調査を実施(平成27年1月6日)。 奏の杜の常住人口を毎月末に確認 					<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 					●		今後も、奏の杜の人口を確認する。
	住民参加プロセス						<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 							
	持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> エリアマネジメント組織の活動支援 					<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 					●		エリアマネジメント組織が住民参加型のまちを維持する活動を継続して実施することができるようサポートする。

様式2-2 地区の概要

JR津田沼駅周辺地区(千葉県習志野市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値		
大目標: 習志野市の玄関口としてふさわしい良好な環境と機能を備えた市街地の形成 目標1: 防災等の観点を踏まえた緑の軸や拠点等の整備による地域の防災性・安全性の向上を図る。 目標2: JR津田沼駅周辺との連携や周辺地域と一体となった土地利用を実現することにより、人口の定着化を図る	狭隘道路率	単位: %	19.1 H23	3.5	H27	3.5	H27
	居住者数	単位: 人	8,056 H21	10,320	H27	14,722	H27

耐震性貯水槽

土地区画整理事業

近隣公園

市道00-101号線

(都)3・4・5号線

JR津田沼駅南北通路

谷津小学校グラウンド拡張整備

(都)3・4・19号線整備

谷津小学校グラウンド拡張整備

まちの課題の変化

- 土地区画整理事業地内においては狭隘道路が解消された。一方で、土地区画整理事業地外ではなお狭隘道路が存在している箇所があるため、その箇所についてどのように解消させるかが課題である。
- 奏の杜地区では、住民等による景観・防犯・環境について自主的なガイドラインが作成されているが、今後どのようにガイドラインを遵守させるかについて、まちづくり団体と協力して検討する必要がある。
- 人口の増加に伴い、新たに生じた教育・文化施設の不足の問題等に対応する。また生活基盤施設に過大な負荷がかかっているかを確認・検証していく必要がある。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

- 土地区画整理事業の解散・清算に向け組合を支援・指導するとともに、その後も良好な住環境の維持と定住の促進を図る。
- エリアマネジメント組織が住民参加型のまちを維持する活動を継続的に実施することができるようサポートする。
- 人口の増加を踏まえ、市の施策を講じる。